

資料1

## 八尾市立病院の業務状況(令和元年度)

令和2年8月4日

## 1. 令和元年度の業務状況

### (1) 概況

令和元年度はこれまでの経営計画の取り組みを継続し、「公立病院としての役割」「医療の質の向上」「健全経営の確保」の視点で取り組み、医療スタッフの確保に力を注ぎながら、地域の中核病院として地域医療連携を進めるとともに、公立病院としての役割を果たすよう取り組みを行った。

令和元年12月頃までは順調に診療を進めていたが、年度末が近づくとつれ、新型コロナウイルス感染症などに伴う感染対策において、これまでの取り組みの延長では対応が難しい状況となり、院内感染対策が最優先課題となった。

新型コロナウイルス感染症が経営面に本格的に影響を及ぼすのは次年度以降となるが、令和元年度においても、令和2年1月以降はインフルエンザによる病棟閉鎖の実施や、緊急性のない入院の延期などをはじめとした新型コロナウイルス感染症への感染対策により、患者数が大きく減少するなど、収益への影響が現れ、令和元年度は純損失を計上した。

### (2) 経営状況

令和元年度の年間延入院患者数は124,247人、病床利用率は89.3%となり、患者数は前年度から3,017人減少し、病床利用率は前年度を2.5ポイント下回った。また、年間延外来患者数は212,180人となり、前年度から4,200人増加した。

医業収益では、入院については、令和2年1月以降の患者数が減少し、入院収益は前年度を下回った。外来については、新型コロナウイルス感染症による影響があったものの、それまでの患者数の増加に加え、化学療法の推進などによる患者1人1日当たりの診療収入が1,233円上昇したことで、医業収益は対前年度で約3億2,100万円増加した。

医業費用では、職員数の増加などに伴い給与費が増加したほか、化学療法の推進などによる材料費や最低賃金の上昇などに伴う第2期PFI事業委託料などの経費が増加したことにより、医業費用は対前年度で約5億9,500万円増加し、病院事業費用では対前年度で約6億8,800万円の増加となり、その結果当年度純損失は約2億3,000万円となった。

主な経営指標については、経常収支比率が98.3%、医業収支比率が95.4%となり、医業費用の伸びが医業収益の伸びを若干上回ったため、医業収支比率は前年度より低下し、これにより経常収支比率も低下した。また、医業収益に対する職員給与費の割合は46.2%となり、前年度から0.9ポイント減少した。医業収益に対する材料費の割合は、化学療法などの推進により薬品費が増加したものの、診療材料費が減少し、26.3%と前年度から0.3ポイント減少した。

経営状況については以上であるが、令和元年度決算では、これまでから健全経営を計る指標として重視してきた資金剰余額(流動資産－流動負債)は、対前年度から約1億8,700万円減少し、約33億9,500万円となった。この資金剰余額の状況は、今後の新型コロナウイルス感染症などの影響により収支が悪化したとしても、病院運営上、直ちに問題が生じる水準ではなく、現時点では健全経営を維持しているものと総括している。

一方、8年間続いた黒字決算から赤字決算になるなど、収支が大幅に悪化したことで、利益剰余金は、対前年度から約2億3,000万円減少し、約9億7,000万円となった。今後、新型コ

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、大きな単年度純損失(赤字)を計上し続けた場合、再び累積欠損金を計上する可能性が否定できない状況にある。

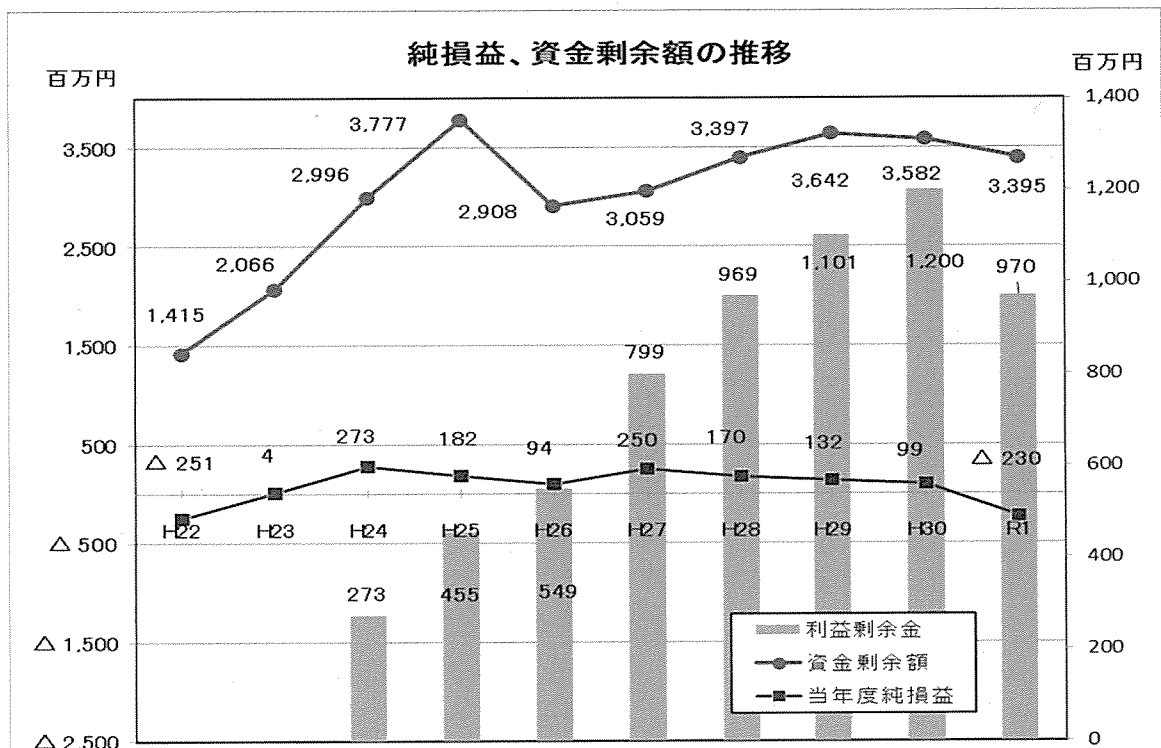
累積欠損金は、金融機関などからの借入金を表すものでなく、非現金支出を含むあくまでも帳簿上の欠損金が累計したもので、病院経営においては運転資金が確保されている方が重要であることは繰り返し説明してきた。しかし、当院は累積欠損金のみで経営が評価されてしまう側面に着目し、平成 24 年度に自己資本金との相殺により、累積欠損金を整理してきた経過があることから、累積欠損金を計上しないよう、経営計画に基づく取り組みを進めてきた。

新型コロナウイルス感染症の第一波は乗り越えたが、第二波がいつ到来してもおかしくないといわれるなか、病院運営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、そのような時だからこそ、危機感を共有し病院職員一体となって、より一層の収支改善に努めていきたい。

### (3) 経営計画との比較

「八尾市立病院経営計画(Ver.Ⅲ)」との比較では、年間延入院患者数は計画を 925 人、病床利用率は計画を 0.7 ポイント下回り、年間延外来患者数では計画を 8,440 人上回った。また、患者 1 人 1 日当たりの診療収入は、入院では計画を 606 円下回ったが、外来は 2,413 円上回った。なお、当年度純利益は計画より約 8,500 万円下回ったが、資金剰余額は計画より 3 億 7,200 万円上回った。

主な経営指標については、経常収支比率は経常費用の伸びが経常収益の伸びを上回ったため、計画に 0.8 ポイント届かなかったものの、医業収支比率は計画どおり、医業収益に対する職員給与費の割合、医業収益に対する材料費の割合はそれぞれ計画より良化した。



※利益剰余金は減資により累積欠損金を解消した平成 24 年度以降を表示

## 2. 八尾市立病院経営計画の達成状況

項目 \ 年度	平成30年度 決算 (a)	令和元年度 経営計画 (b)	令和元年度 決算見込 (c)	令和元見込 -30決算 (c)-(a)	令和元見込 -元計画 (c)-(b)	計画に対す る達成率(%) ※4
年間延入院患者数(人)	127,264	125,172	124,247	△ 3,017	△ 925	99.3
(病床利用率)(%)	(91.8)	(90.0)	(89.3)	(△2.5)	(△0.7)	(99.2)
年間延外来患者数(人)	207,980	203,740	212,180	4,200	8,440	104.1
入院患者1人1日当たり診療収入※1 (入院収益÷年間延入院患者数)(円)	67,450	69,346	68,740	1,290	△ 606	99.1
外来患者1人1日当たり診療収入※1 (外来収益÷年間延外来患者数)(円)	18,953	17,773	20,186	1,233	2,413	113.6
当年度純損益(病院事業収益-病院事業費用)(百万円)※1	99	△ 145	△ 230	△ 329	△ 85	63.0
資金剰余額(百万円)	3,582	3,023	3,395	△ 187	372	112.3
経常収支比率(経常収益÷経常費用×100)(%)※2	100.6	99.1	98.3	△ 2.3	△ 0.8	99.2
経常収益に対する繰入金の割合(%)	5.7	5.7	5.9	0.2	0.2	96.6
医業収支比率(医業収益÷医業費用×100)(%)	97.2	95.4	95.4	△ 1.8	0.0	100.0
医業収益に対する職員給与費の割合(%) ※3	47.1	48.4	46.2	△ 0.9	△ 2.2	104.8
医業収益に対する材料費の割合(%)	26.6	26.5	26.3	△ 0.3	△ 0.2	100.8

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 地方公営企業会計基準による職員給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率。

※4 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は(b)÷(c)×100、その他の項目は(c)÷(b)×100。

### 3. 令和元年度の収支状況

項目		年度		(税 抜)			(百万円)
		平成30年度 決算 (a)	令和元年度 経営計画 (b)	令和元年度 決算見込 (c)	令和元見込 -30決算 (c)-(a)	令和元見込 一元計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
収 益 的 収 支	病院事業収益	14,449	14,234	14,808	359	574	104.0
	経常収益	14,405	14,229	14,765	360	536	103.8
	医業収益	13,155	12,936	13,476	321	540	104.2
	入院収益	8,584	8,680	8,541	△ 43	△ 139	98.4
	外来収益	3,942	3,621	4,283	341	662	118.3
	その他医業収益	629	635	652	23	17	102.7
	医業外収益	1,250	1,293	1,289	39	△ 4	99.7
	特別利益	44	5	43	△ 1	38	860.0
	病院事業費用	14,350	14,379	15,038	688	659	95.6
	経常費用	14,322	14,355	15,018	696	663	95.6
	医業費用	13,532	13,561	14,127	595	566	96.0
	給与費	6,535	6,582	6,642	107	60	99.1
	材料費	3,497	3,431	3,547	50	116	96.7
	経費	2,260	2,254	2,652	392	398	85.0
	減価償却費	1,153	1,219	1,223	70	4	99.7
	その他	87	75	63	△ 24	△ 12	119.0
	医業外費用	790	794	891	101	97	89.1
	特別損失	28	24	20	△ 8	△ 4	120.0
	経常損益	83	△ 126	△ 253	△ 336	△ 127	49.8
	純 損 益	99	△ 145	△ 230	△ 329	△ 85	63.0

項目		年度		(税 抜)			(百万円)
		平成30年度 決算 (a)	令和元年度 経営計画 (b)	令和元年度 決算見込 (c)	令和元見込 -30決算 (c)-(a)	令和元見込 一元計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
資 本 的 収 支	資本的収入	1,026	944	1,536	510	592	162.7
	負担金	591	674	674	83	0	100.0
	企業債	430	270	846	416	576	313.3
	補助金	5	0	16	11	16	皆 増
	資本的支出	1,833	1,801	2,220	387	419	81.1
	建設改良費	754	557	976	222	419	57.1
	企業債償還金	1,079	1,244	1,244	165	0	100.0
差引合計	△ 807	△ 857	△ 684	123	173	125.3	

項目		年度		(税 抜)			(百万円)
		平成30年度 決算 (a)	令和元年度 経営計画 (b)	令和元年度 決算見込 (c)	令和元見込 -30決算 (c)-(a)	令和元見込 一元計画 (c)-(b)	計画に対する 達成率(%) ※1
利益剰余金 ※2		1,200	773	970	△ 230	197	125.5
資金剰余額 ※3		3,582	3,023	3,395	△ 187	372	112.3
企業債残高(3月末現在)		13,589	12,615	13,192	△ 397	577	95.6

※1 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は (b)÷(c)×100、その他の項目は (c)÷(b)×100。

※2 令和元年度の利益剰余金＝平成30年度利益剰余金(1,200)＋当年度純損益(△230)

※3 令和元年度の資金剰余額＝流動資産(7,762)－流動負債(4,367)

## 4. 主な収益・費用の増減

(税抜)

(千円)

項 目	令和元年度見込	平成30年度	増減額	増減率(%)
病院事業収益	14,808,586	14,449,806	358,780	2.5
医業収益	13,475,648	13,155,587	320,061	2.4
入院収益	8,540,758	8,583,976	△ 43,218	△ 0.5
外来収益	4,283,123	3,941,828	341,295	8.7
その他医業収益	651,767	629,783	21,984	3.5
一般会計負担金	274,772	257,322	17,450	6.8
その他	376,995	372,461	4,534	1.2
医業外収益	1,289,282	1,250,068	39,214	3.1
受取利息及び配当金	5,476	8,781	△ 3,305	△ 37.6
他会計補助金	105,154	100,317	4,837	4.8
他会計負担金	487,120	467,767	19,353	4.1
補助金	10,824	6,183	4,641	75.1
長期前受金戻入	609,616	586,470	23,146	3.9
その他医業外収益	71,092	80,550	△ 9,458	△ 11.7
特別利益	43,656	44,151	△ 495	△ 1.1

(税抜)

(千円)

項 目	令和元年度見込	平成30年度	増減額	増減率(%)
病院事業費用	15,038,387	14,350,217	688,170	4.8
医業費用	14,126,709	13,531,837	594,872	4.4
給与費用	6,641,587	6,535,082	106,505	1.6
給料	1,914,716	1,920,895	△ 6,179	△ 0.3
手当	2,006,911	2,086,499	△ 79,588	△ 3.8
賃金	311,402	249,896	61,506	24.6
報酬	780,143	732,159	47,984	6.6
法定福利費	832,603	836,506	△ 3,903	△ 0.5
退職給付費	384,607	305,418	79,189	25.9
賞与等引当金繰入額	411,205	403,709	7,496	1.9
材料費	3,546,994	3,496,579	50,415	1.4
薬品費	2,258,627	2,029,568	229,059	11.3
投薬薬品	204,621	205,961	△ 1,340	△ 0.7
注射薬品	1,839,672	1,607,812	231,860	14.4
その他薬品	214,334	215,795	△ 1,461	△ 0.7
診療材料費	1,288,367	1,467,011	△ 178,644	△ 12.2
経費	2,651,507	2,259,868	391,639	17.3
光熱水費	269,417	262,645	6,772	2.6
委託料	2,200,904	1,894,659	306,245	16.2
その他経費	181,186	102,564	78,622	76.7
減価償却費	1,222,868	1,152,799	70,069	6.1
資産減耗費	20,550	46,235	△ 25,685	△ 55.6
研究研修費	43,203	41,274	1,929	4.7
医業外費用	891,334	790,509	100,825	12.8
支払利息	211,020	226,007	△ 14,987	△ 6.6
長期前払消費税償却	54,496	54,496	0	0.0
雑支出	625,818	510,006	115,812	22.7
特別損失	20,344	27,871	△ 7,527	△ 27.0

## 5. 主要な経営指標の推移

項目 \ 年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度見込
年間延入院患者数(人)	118,311	119,633	124,731	127,264	124,247
(病床利用率)(%)	(85.1)	(86.3)	(89.9)	(91.8)	(89.3)
年間延外来患者数(人)	201,687	200,570	205,519	207,980	212,180
入院患者1人1日当たり診療収入 (入院収益÷年間延入院患者数) (円) ※1	63,507	64,664	67,437	67,450	68,740
外来患者1人1日当たり診療収入 (外来収益÷年間延外来患者数) (円) ※1	15,580	17,810	17,468	18,953	20,186
当年度純損益(病院事業収益－病 院事業費用)(百万円)※1	250	170	132	99	△ 230
資金剰余額(百万円)	3,059	3,397	3,642	3,582	3,395
経常収支比率(経常収益÷経常費 用×100)(%) ※2	102.1	101.5	101.1	100.6	98.3
経常収益に対する繰入金の割合 (%)	7.8	6.2	6.1	5.7	5.9
医業収支比率(医業収益÷医業費 用×100)(%)	98.5	97.8	97.7	97.2	95.4
医業収益に対する職員給与費の割 合(%) ※3	45.8	45.7	46.1	47.1	46.2
医業収益に対する材料費の割合 (%)	24.3	26.0	25.9	26.6	26.3

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 地方公営企業会計基準による職員給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率。

## 6. 収支の推移

(税抜) (百万円)

項目		年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度見込
収 益 的 収 支	病院事業収益		12,576	13,170	13,873	14,449	14,808
	經常収益		12,569	13,161	13,867	14,405	14,765
	医業収益		11,326	11,942	12,640	13,155	13,476
	入院収益		7,514	7,736	8,412	8,584	8,541
	外来収益		3,142	3,572	3,590	3,942	4,283
	その他医業収益		670	634	638	629	652
	一般会計繰入金		335	273	265	257	275
	その他		335	361	373	372	377
	医業外収益		1,243	1,219	1,227	1,250	1,289
	一般会計繰入金		640	548	578	568	592
	その他		603	671	649	682	697
	特別利益		7	9	6	44	43
	病院事業費用		12,326	13,000	13,741	14,350	15,038
	經常費用		12,308	12,971	13,718	14,322	15,018
	医業費用		11,499	12,215	12,935	13,532	14,127
	給与費		5,586	5,855	6,239	6,535	6,642
	材料費		2,747	3,105	3,269	3,497	3,547
	経費		2,176	2,089	2,205	2,260	2,652
	うち委託料		1,806	1,758	1,855	1,895	2,201
	減価償却費		903	1,083	1,127	1,153	1,223
	その他		87	83	95	87	63
	医業外費用		809	756	783	790	891
	支払利息		269	255	241	226	211
その他		540	501	542	564	680	
特別損失		18	29	23	28	20	
經常損益		261	190	149	83	△ 253	
純損益		250	170	132	99	△ 230	
資 本 的 収 支	資本的収入		1,650	934	1,150	1,026	1,536
	出資金		249	0	0	0	0
	負担金		577	583	550	591	674
	企業債		800	351	600	430	846
	補助金		24	0	0	5	16
	資本的支出		2,197	1,573	1,777	1,833	2,220
建設改良費		1,305	507	778	754	976	
企業債償還金		892	1,066	999	1,079	1,244	
利益剰余金 ※1		799	969	1,101	1,200	970	
資金剰余额 ※2		3,059	3,397	3,642	3,582	3,395	
企業債残高(3月末現在)		15,352	14,637	14,238	13,589	13,192	

※1 利益剰余金＝前年度利益剰余金＋当年度純損益

※2 資金剰余额＝年度末の流動資産－年度末の流動負債



7. 経営指標の増減、府下病院との比較

区 分		算 式	令和 元年度	平成 30年度	30年度 府下5市 平均
一般病床利用率 (%)		年延入院患者数／年延病床数×100	89.3	91.8	83.9
1日平均患者数 (人)	入 院	年延入院患者数／年間日数	339	349	340
	外 来	年延外来患者数／診療日数	877	852	935
	計	入 院 + 外 来	1,216	1,201	1,275
外来入院患者比率 (%)		年延外来患者数／年延入院患者数×100	170.8	163.4	188.0
患者1人1日当たり 診療収入 (円)	入 院	入院(外来)収益／年延入院(外来)患者数	68,740	67,450	60,115
	外 来		20,186	18,953	15,545
	計		38,118	37,363	31,096
患者1人1日当たり医療材料費(円)		医療材料費／年延入院外来患者数	10,543	10,430	8,005
	薬 品 費 (投薬・注射薬) (円)	薬品費(試薬等除く)／年延入院外来患者数	6,076	5,410	4,518
	その他医療材料費 (円)	その他医療材料費／年延入院外来患者数	4,467	5,020	3,488
医業収益に対する 割合 (%)	職員給与費	職員給与費／医業収益×100	46.2	47.1	52.8
	医療材料費	医療材料費／医業収益×100	26.3	26.6	24.1
	経 費	経 費／医業収益×100	22.8	19.8	19.0
	委 託 料	委 託 料／医業収益×100	16.3	14.4	10.5
	減価償却費	減価償却費／医業収益×100	9.1	8.8	8.6
	企業債利息	企業債利息／医業収益×100	1.6	1.7	1.4
100床当たり職員 数 (人)	医 師	$\frac{\text{年度末職員数} \times 100}{\text{年度末許可一般病床数}}$	31.7	31.1	29.1
	看護部門職員		98.6	97.5	100.3
	薬剤部門職員		6.9	6.3	6.8
	事務部門職員		12.1	12.2	14.7
	給食部門職員		1.3	1.2	1.6
	放射線部門職員		5.0	4.7	5.4
	臨床検査部門職員		5.3	4.9	7.4
	その他職員		4.9	5.2	15.2
	全 職 員		165.8	163.1	180.5

※地方公営企業決算報告の数値による。

※府下5市平均は、本市以外の病床300床以上の市立病院(豊中市、岸和田市、池田市、枚方市、箕面市)の数値の単純平均値。

8. 令和元年度の主な診療データ

(1) 入院

(1)-1 年間延患者数

診療科	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	6,561人	8,593人	△ 2,032人	76.4%
消化器内科	14,434人	15,022人	△ 588人	96.1%
循環器内科	15,532人	16,477人	△ 945人	94.3%
腫瘍内科	3,843人	0人	3,843人	皆 増
血液内科	7,840人	7,404人	436人	105.9%
外科	25,427人	25,767人	△ 340人	98.7%
乳腺外科	3,635人	3,563人	72人	102.0%
整形外科	10,677人	12,157人	△ 1,480人	87.8%
脳神経外科	1,638人	2,670人	△ 1,032人	61.3%
産婦人科	9,942人	9,897人	45人	100.5%
小児科	7,697人	8,373人	△ 676人	91.9%
耳鼻咽喉科	5,962人	6,125人	△ 163人	97.3%
形成外科	2,898人	2,866人	32人	101.1%
皮膚科	24人	28人	△ 4人	85.7%
泌尿器科	6,663人	6,846人	△ 183人	97.3%
放射線科	103人	303人	△ 200人	34.0%
歯科口腔外科	1,371人	1,173人	198人	116.9%
【 合 計 】	124,247人	127,264人	△ 3,017人	97.6%

(1)-2 診療科別 入院収益

診療科	令和元年度			平成30年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	307,526千円	3.6%	46,872円	387,604千円	4.5%	45,107円
消化器内科	648,787千円	7.6%	44,949円	664,826千円	7.7%	44,257円
循環器内科	1,452,856千円	17.0%	93,540円	1,643,213千円	19.1%	99,728円
腫瘍内科	186,637千円	2.2%	48,565円	0千円	-	-
血液内科	370,820千円	4.3%	47,299円	359,878千円	4.2%	48,606円
外科	1,869,540千円	21.9%	73,526円	1,793,830千円	20.9%	69,617円
乳腺外科	292,825千円	3.4%	80,557円	251,147千円	2.9%	70,488円
整形外科	739,998千円	8.7%	69,308円	789,588千円	9.2%	64,949円
脳神経外科	145,339千円	1.7%	88,730円	189,910千円	2.2%	71,127円
産婦人科	793,031千円	9.3%	79,766円	742,997千円	8.7%	75,073円
小児科	517,629千円	6.1%	67,251円	551,662千円	6.5%	65,886円
耳鼻咽喉科	393,561千円	4.6%	66,012円	387,148千円	4.5%	63,208円
形成外科	297,988千円	3.5%	102,825円	274,226千円	3.2%	95,683円
皮膚科	845千円	0.0%	35,208円	998千円	0.0%	35,643円
泌尿器科	430,571千円	5.0%	64,621円	460,000千円	5.4%	67,193円
放射線科	6,306千円	0.1%	61,223円	18,155千円	0.2%	59,918円
歯科口腔外科	86,499千円	1.0%	63,092円	68,794千円	0.8%	58,648円
【 合 計 】	8,540,758千円	100.0%	68,740円	8,583,976千円	100.0%	67,450円

※患者1人1日当たり収入は入院収益を延患者数で除したもの。

(1)-3 診療行為別収入

行 為	令和元年度			平成30年度		
	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	入院収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
投薬・注射収入	600,856千円	7.0%	4,836円	582,852千円	6.8%	4,580円
処置・手術収入	3,188,162千円	37.3%	25,660円	3,262,630千円	38.0%	25,637円
検査・放射線収入	574,544千円	6.7%	4,624円	580,458千円	6.8%	4,561円
入院料	3,644,319千円	42.7%	29,331円	3,626,015千円	42.2%	28,492円
その他	532,877千円	6.3%	4,289円	532,021千円	6.2%	4,180円
【合計】	8,540,758千円	100.0%	68,740円	8,583,976千円	100.0%	67,450円

(1)-4 病床利用率

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度
病床利用率	89.3%	91.8%	△ 2.5%	97.3%

(1)-5 新入院患者数

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度
新入院患者数	11,461人	11,553人	△92人	99.2%

(1)-6 退院患者数

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度
退院患者数	11,469人	11,533人	△64人	99.4%

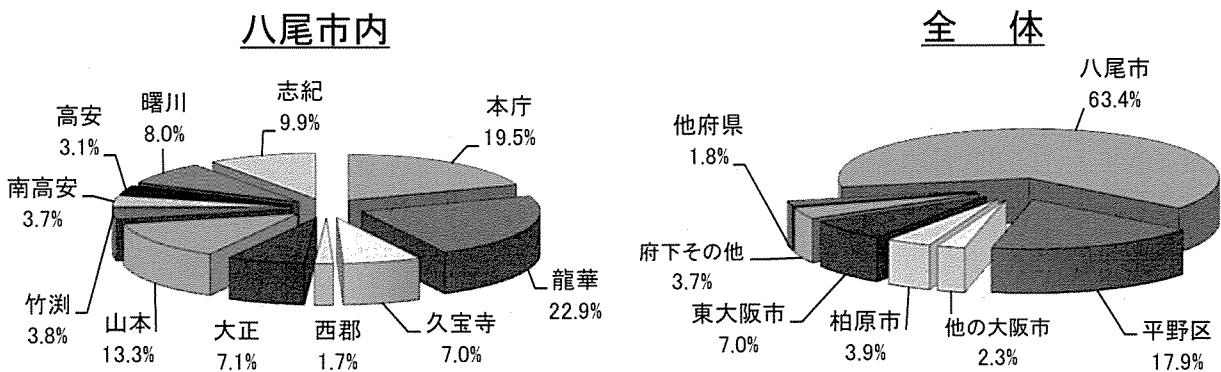
(1)-7 平均在院日数

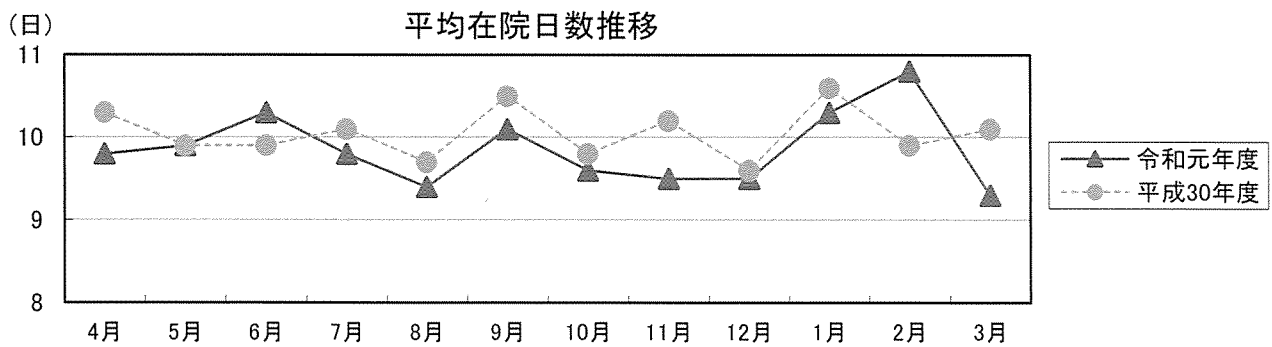
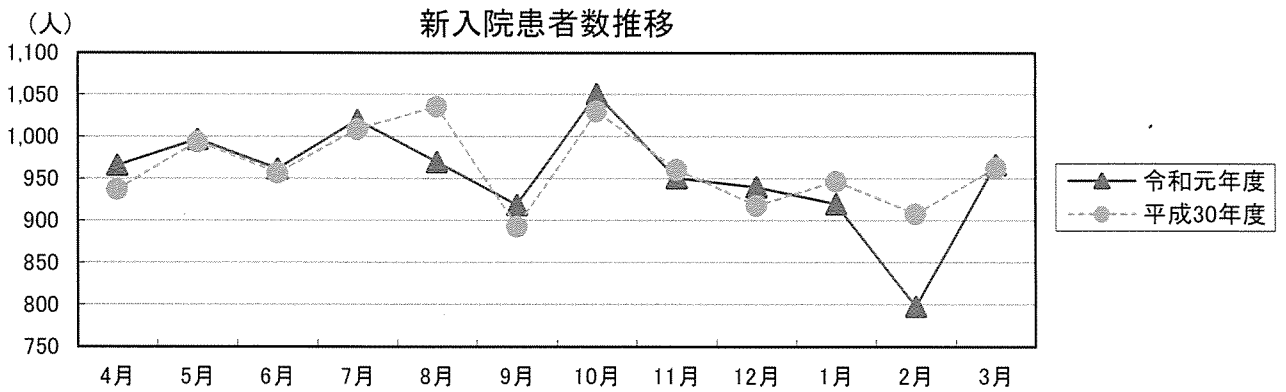
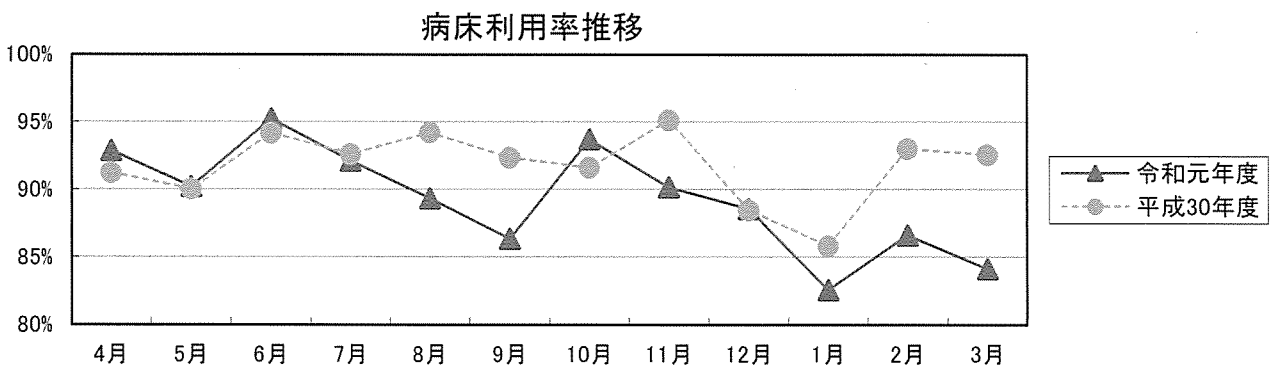
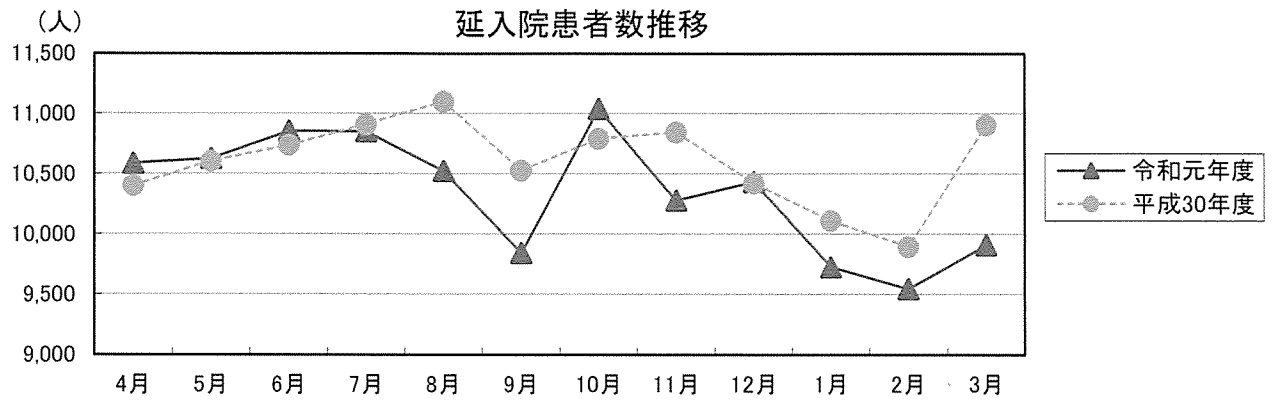
	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度
平均在院日数	9.8日	10.0日	△ 0.2日	98.0%

(1)-8 患者1人1日当たり診療収入

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度
1人1日当たり診療収入	68,740円	67,450円	1,290円	101.9%

(1)-9 地域別入院患者の分布(令和元年度)





## (2) 外来

## (2)-1 年間延患者数

診療科	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	23,277人	22,463人	814人	103.6%
消化器内科	15,786人	15,385人	401人	102.6%
循環器内科	8,708人	9,006人	△ 298人	96.7%
腫瘍内科	1,079人	0人	1,079人	皆 増
血液内科	4,112人	4,245人	△ 133人	96.9%
外科	15,657人	15,145人	512人	103.4%
乳腺外科	7,647人	6,848人	799人	111.7%
整形外科	10,125人	10,185人	△ 60人	99.4%
脳神経外科	4,095人	4,291人	△ 196人	95.4%
産婦人科	20,479人	19,630人	849人	104.3%
小児科	22,299人	22,422人	△ 123人	99.5%
眼科	756人	706人	50人	107.1%
耳鼻咽喉科	14,036人	13,744人	292人	102.1%
形成外科	9,014人	8,307人	707人	108.5%
皮膚科	3,137人	3,222人	△ 85人	97.4%
泌尿器科	16,932人	17,394人	△ 462人	97.3%
放射線科	9,441人	9,150人	291人	103.2%
リハビリテーション科	1,373人	1,407人	△ 34人	97.6%
麻酔科	1,282人	1,451人	△ 169人	88.4%
歯科口腔外科	9,589人	9,581人	8人	100.1%
救急診療科	13,356人	13,398人	△ 42人	99.7%
【 合 計 】	212,180人	207,980人	4,200人	102.0%

※救急診療科については、救急外来で対応した患者を表記している。

## (2)-2 診療科別 外来収益

診療科	令和元年度			平成30年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
内科	344,522千円	8.0%	14,801円	342,474千円	8.7%	15,246円
消化器内科	244,180千円	5.7%	15,468円	240,774千円	6.1%	15,650円
循環器内科	119,903千円	2.8%	13,769円	133,670千円	3.4%	14,842円
腫瘍内科	127,160千円	3.0%	117,850円	0千円	-	-
血液内科	265,299千円	6.2%	64,518円	282,584千円	7.2%	66,569円
外科	792,915千円	18.5%	50,643円	775,608千円	19.7%	51,212円
乳腺外科	510,231千円	11.9%	66,723円	375,867千円	9.5%	54,887円
整形外科	88,509千円	2.1%	8,742円	92,740千円	2.4%	9,106円
脳神経外科	52,497千円	1.2%	12,820円	51,833千円	1.3%	12,079円
産婦人科	147,129千円	3.4%	7,184円	124,457千円	3.1%	6,340円
小児科	458,916千円	10.7%	20,580円	450,951千円	11.4%	20,112円
眼科	5,281千円	0.1%	6,985円	3,565千円	0.1%	5,050円
耳鼻咽喉科	120,063千円	2.8%	8,554円	111,729千円	2.8%	8,129円
形成外科	63,160千円	1.5%	7,007円	55,443千円	1.4%	6,674円
皮膚科	10,262千円	0.3%	3,271円	11,120千円	0.3%	3,451円
泌尿器科	386,043千円	9.0%	22,800円	327,628千円	8.3%	18,836円
放射線科	255,737千円	6.0%	27,088円	256,073千円	6.5%	27,986円
リハビリテーション科	4,705千円	0.1%	3,427円	6,747千円	0.2%	4,795円
麻酔科	2,945千円	0.1%	2,297円	3,224千円	0.1%	2,222円
歯科口腔外科	97,462千円	2.3%	10,164円	97,717千円	2.5%	10,199円
救急診療科	186,204千円	4.3%	13,942円	197,624千円	5.0%	14,750円
【 合 計 】	4,283,123千円	100.0%	20,186円	3,941,828千円	100.0%	18,953円

※患者1人1日当たり収入は外来収益を延患者数で除したものの。

(2)－3 診療行為別収入

行 為	令和元年度			平成30年度		
	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入	外来収益	構成比率	患者1人1日 当たり収入
初診・再診料	277,325千円	6.5%	1,307円	277,704千円	7.1%	1,335円
投薬・注射収入	1,784,984千円	41.7%	8,413円	1,502,024千円	38.1%	7,222円
処置・手術収入	140,917千円	3.3%	664円	147,593千円	3.7%	710円
検査・放射線収入	1,496,569千円	34.9%	7,052円	1,431,429千円	36.3%	6,882円
その他	583,328千円	13.6%	2,749円	583,078千円	14.8%	2,804円
【合計】	4,283,123千円	100.0%	20,186円	3,941,828千円	100.0%	18,953円

(2)－4 初診患者数

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診患者数	35,749人	36,958人	△ 1,209人	96.7%

(2)－5 再診患者数

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
再診患者数	176,431人	171,022人	5,409人	103.2%

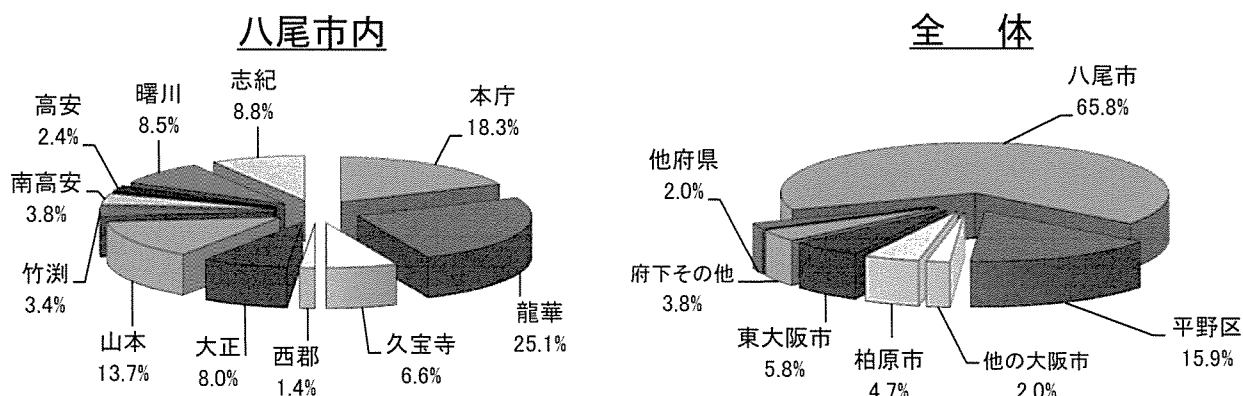
(2)－6 平均通院回数

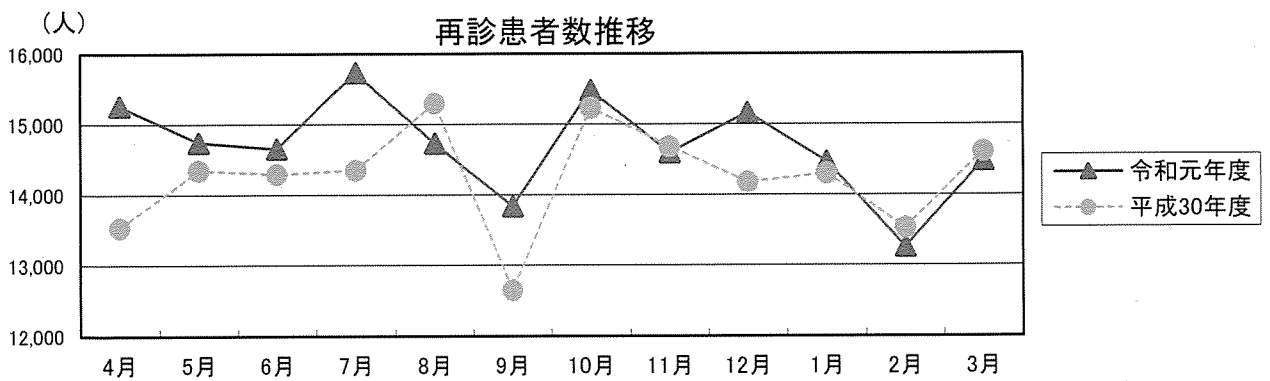
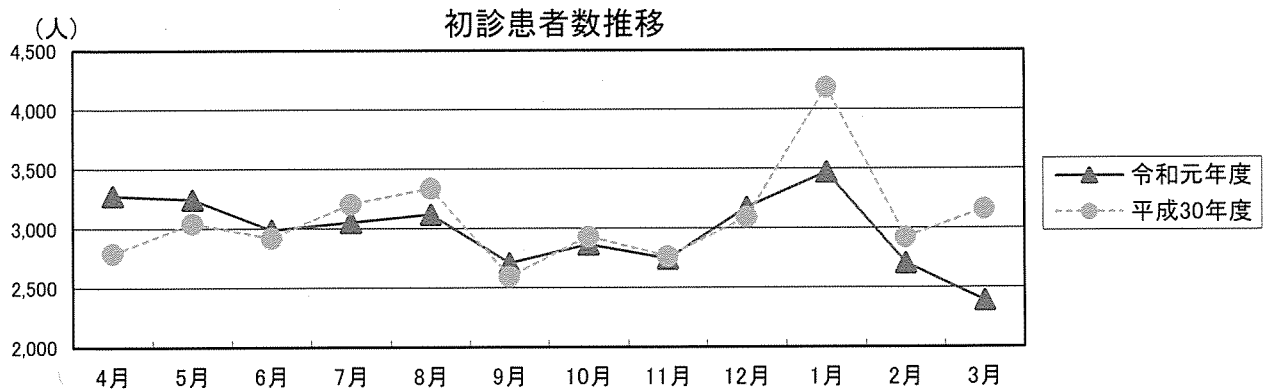
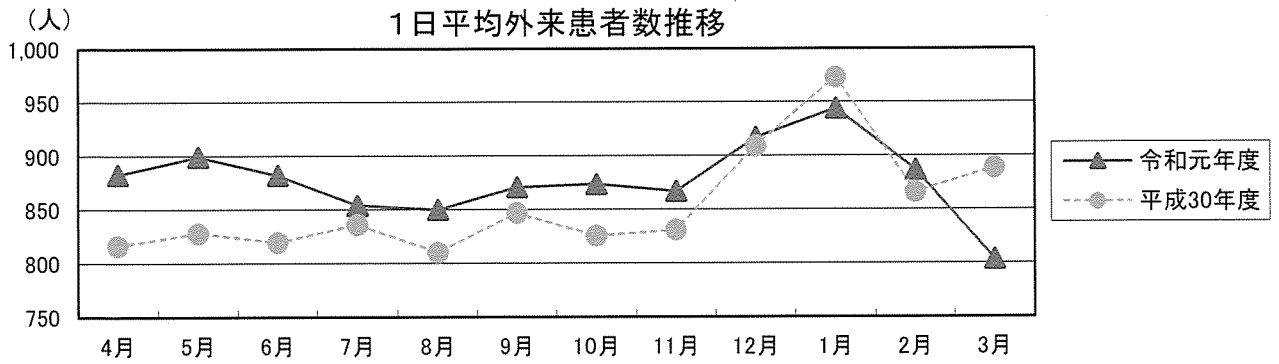
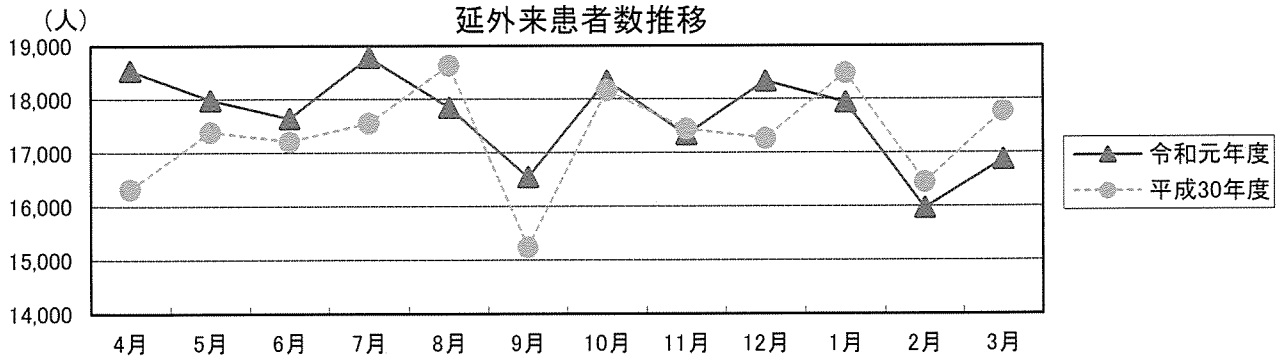
	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
平均通院回数	5.9回	5.6回	0.3回	105.4%

(2)－7 患者1人1日当たり診療収入

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
1人1日当たり診療収入	20,186円	18,953円	1,233円	106.5%

(2)－8 地域別外来患者の分布(令和元年度)





(3) 紹介率・逆紹介率

(3)－1 紹介率、逆紹介率

	①令和元年度	②平成30年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
初診紹介患者数	11,996人	12,162人	△ 166人	98.6%
紹介率	54.7%	53.0%	1.7%	103.2%
逆紹介率	80.5%	75.2%	5.3%	107.0%

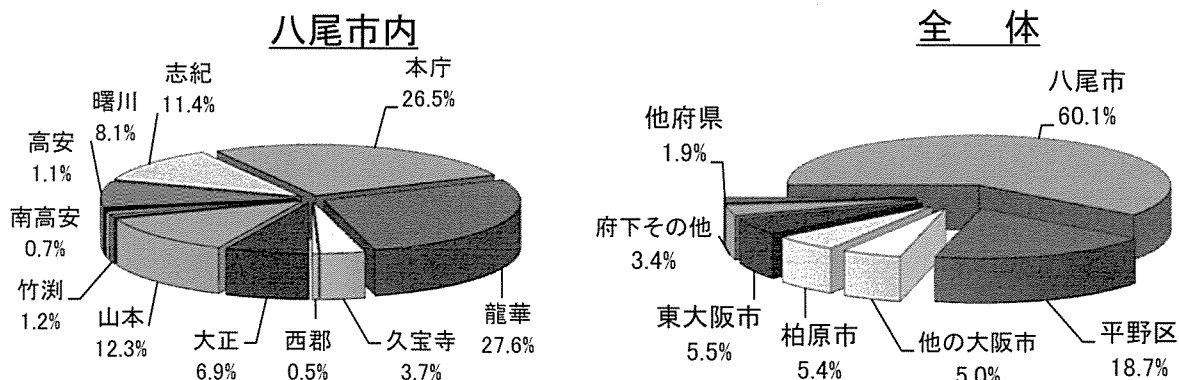
【紹介率算出式】

$$\frac{\text{紹介患者数(文書により紹介された患者の数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

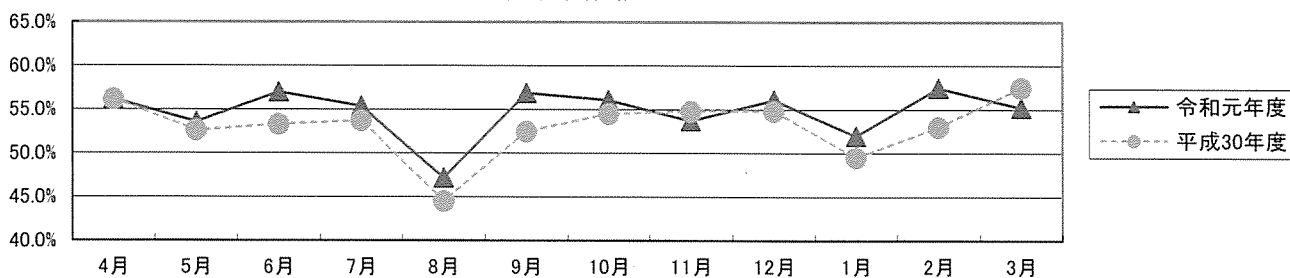
【逆紹介率算出式】

$$\frac{\text{逆紹介患者数(診療情報提供料を算定した患者数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

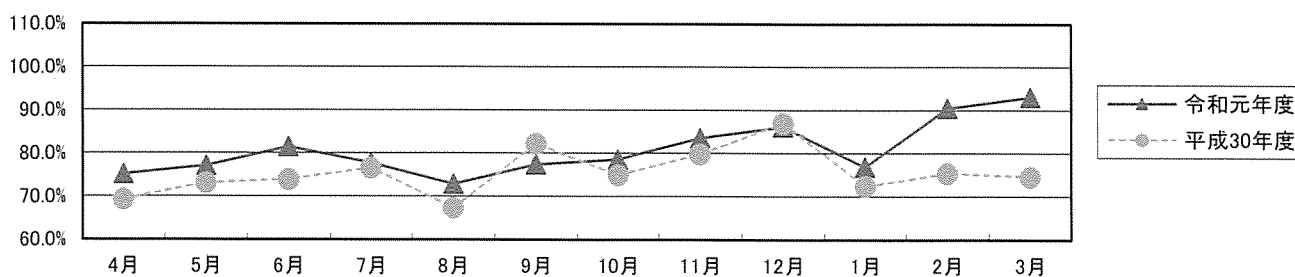
(3)－2 紹介元医療機関の分布(令和元年度)



紹介率推移



逆紹介率推移





9. 具体的取り組みに係る数値目標の達成状況

項目 \ 年度	平成30年度 決算 (a)	令和元年度 経営計画 (b)	令和元年度 決算見込 (c)	令和元見込 -30決算 (c)-(a)	令和元見込 -元計画 (c)-(b)	計画に対す る達成率(%) (c)÷(b)× 100
初診紹介患者数(人)	12,162	13,260	11,996	△ 166	△ 1,264	90.5
逆紹介(診療情報提供)件数(件)	17,257	18,400	17,658	401	△ 742	96.0
紹介率(%)	53.0	50.0	54.7	1.7	4.7	109.4
逆紹介率(%)	75.2	70.0	80.5	5.3	10.5	115.0
新入院患者数(人)	11,553	11,200	11,461	△ 92	261	102.3
救急搬送受入数(人)	4,664	4,100	4,263	△ 401	163	104.0
救急からの入院数(人)	2,876	2,600	2,758	△ 118	158	106.1
手術件数(件)	4,699	4,500	5,052	353	552	112.3
全身麻酔手術件数(件)	3,215	3,160	3,483	268	323	110.2
鏡視下手術件数(件)	896	900	1,057	161	157	117.4
がん患者数(人)	2,420	2,240	2,598	178	358	116.0
がん手術件数(件)	1,185	1,240	1,333	148	93	107.5
放射線治療件数(件)	7,482	8,400	8,181	699	△ 219	97.4
外来化学療法件数(件)	5,061	4,800	5,206	145	406	108.5
分娩取扱い件数(件)	780	800	811	31	11	101.4
クリニカルパス適用率(%)	73.4	64.5	80.7	7.3	16.2	125.1
後発医薬品指数(%)	90.0	87.8	94.4	4.4	6.6	107.5
病診薬ネットワークシステム情報共有 件数(件)	2,791	1,400	3,267	476	1,867	233.4

<指標の算出方法>

クリニカルパス適用率(%)	院内クリニカルパスを適用した患者数÷退院患者数×100
後発医薬品指数(%)	[後発医薬品の数量]÷([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+ [後発医薬品の数量])×100 ・指標が一定以上のDPC対象病院について、診療報酬の請求点数 が加算される。(現行は60.0以上)